

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 14日

※人数を記入 事業所名 はびりすぽと

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			はびりすぽとは児童支援室30㎡に加えて遊戯室50㎡や和室10㎡があります。
	2 職員の配置数は適切である	7			法令に定められた人員で支援を行っています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			段差解消や設備の整備等バリアフリー化されています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			毎週、または必要時にミーティングやカンファレンスを行い振り返りをしています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			毎年行う事業所評価以外にも気軽に保護者が要望を伝えられるシステム(ラインオフィシャル)を開設しています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページにて公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		学校や福祉事業所、島外の事業所が施設見学に来られることはありますが、同時に評価、ご指摘頂けるよう準備を進めたいと思います。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			島外への研修は感染防止対策上、控えて居ますがオンラインで参加可能な研修に参加しています。また、月1回の職員会議にて研修を行っています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			子どもと保護者のニーズを確認しながら、今後も標準化された評価を行い、客観的データを基に支援を計画します。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			現在ははびりすぽとでは標準化された14以上の検査を必要に応じて実施しています。今年度は新たに、適応行動尺度Vineland IIの評価を取り入れて行っています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			カンファレンスを行い、皆で検討しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			季節に応じたイベントも利用し、意欲的にプログラムに取り組めるよう工夫しています。また、職員会議時に職員のアイデアを提案する機会を設けています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		時間の長さや人数的なゆとりに合わせて課題の設定を変更しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			子どもの特性や時期を踏まえ、個別や集団の使い分けを意識して支援計画を作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		支援の環境設定や職員間の役割分担を視覚化して取り組みやすいように工夫しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		支援終了直後は送迎のために全職員の時間確保が難しい事もありますが、合間や翌日または書面で情報共有を図るようにしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			日々の記録より、振り返りや支援検証を行う事ができています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			定期的、または子どもの変化に合わせてカンファレンスを実施して必要に応じて計画見直しを行っています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7			今後も継続していきます。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			今後も継続していきます。	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			年度始めや、週毎、都度の連絡を取り合っています。今後も継続していきます。	

22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	1		必要に応じて関係機関と連携した支援が行えるような体制を維持していきます。
----	---	---	---	--	--------------------------------------

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			就学支援委員会などを通して、情報共有を行っています。スムーズに就学後を過ごせるように引き続き取り組んでいきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1		現在、対象者はいませんが今後必要に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		島外の機関になるため、感染防止対策の状況に合わせて研修への参加を行います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3		普段、学校や学童を利用している子どもが当事業所を利用しており、交流はあるため、特別に機会を設けてはいません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7			法人代表が協議会委員であり、子ども部会部長として参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			連絡帳や送迎持の対面、また電話等で子どもの状況について共通理解を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7			緊急、個別的に実施することもありますし、企画、対象者募集して実施することもあります。今後も積極的に実施する予定です。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			今後も契約時に丁寧な説明を行っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			半年毎の面談時や普段の連絡以外にも気軽に保護者が要望を伝えられるシステム(ラインオフィシャル)を開設しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		会の開催は感染防止対策の観点から積極的に行っていませんが、状況を見ながら保護者間の連携を支援できるように取り組んでいきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			迅速に保護者からの相談や申し入れに対応していますが、より体制を整えるために対応できる人材育成に努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			HPの更新を継続するとともに、ラインオフィシャルを利用して発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報の取扱いについて、引き続き職員教育に取り組んでいきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			引き続き配慮していきます。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		感染防止対策の観点から任氏の招待は積極的に行っていませんが状況を見ながら展開していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			入職時や定期的なマニュアルの確認および防災訓練・AED訓練・エビベン訓練を継続していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			3か月毎、1か月毎と内容に応じて訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			例年3月に虐待に関する研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			身体拘束が想定される児童の利用があれば、必要な取り組みを行っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			アナフィラキシーの恐れのある児童に関しては医師の指示のもと、エビベン利用の対応になっています。その他、必要に応じて医師との連携に努めていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			安全管理に関して責任者を任命しており、責任者を中心に事故等の情報の共有や対策を行っています。